

論文の日本語、悩んでいませんか？



日本語論文写作・学術発表辅导课(免费)
아카데미 일본어 레슨(무료)
Free Academic Japanese Lessons



「論文らしく書けない…」 「発表が上手にできない…」

そんな悩みを抱えている留学生のみなさん！

広島県 日本語高等研修（無料） を受けてみませんか？

2週間集中プログラム(8月～9月)

- ◆ こんな人にオススメ！
 - ・授業が多くて時間がないけど、研究活動のためのヒントがほしい！
 - ・今論文書いているけど、色々不安…
⇒発表や論文作成のコツが学べます！
 - ◆ いつある？
 - 【Aコース】
前期:2014年8月11日(月)～8月15日(金)
後期:2014年9月1日(月)～9月5日(金)
 - 【Bコース】
前期:2014年8月25日(月)～8月29日(金)
後期:2014年9月15日(月)～9月19日(金)
- ※都合にあわせて、コースを選んでください

半年プログラム(10月～翌年3月)

- ◆ こんな人にオススメ！
 - ・大学院進学に向けて、発表や論文作成の方法をしっかりと学びたい
 - ・ゼミ発表とかしてるけど、自信がないから、じっくり練習したい！
⇒「研究のために必要な日本語のスキル」を身につけることができます！
 - ◆ いつある？
2014年10月6日(月)～2015年3月6日(金)
- ※1週間のうち、都合に合わせて、1～2日間、来ることができればOKです！
(必修科目:2科目、選択科目:2科目)

◆ 場所：両プログラムとも、ひろしま国際プラザ(東広島市鏡山3-3-1 サイエンスパーク内)



←JR西条駅から無料バスがあります。詳しいアクセス方法などは、こちらから！

※このプログラムに参加したい人は、事前に試験を受ける必要があります。
詳しい申込み方法は、申込み用紙を見てください！

受講者の声

～「大学での勉強に役立つ！」 「就職活動にも使える！」

発表のやりかたと論文のかきかたのコツを教えてくださいまして、とくに今まで、発表に悩んでいた問題を解決しました。自分にとって、とても役立つ集中講義でした。(H24-2週間集中)

論文・要約の書く知識で、研究計画書を書いたら、指導先生にほめられました。(H20-半年)

面接時に「質疑応答」のしかたを使って答えたことがある。よかったです。(H23-半年)

フィードバックは大変いいと思います。また、最終課題の作成や発表を通して、チームワークの中で自分の役割もわかるようになります。(H25-2週間)

2 週間集中プログラム(8 月～9 月)

I. 研修について

- 研修期間：【A日程】前期：8月11日(月)～8月15日(金)/後期：9月1日(月)～9月5日(金)
【B日程】前期：8月25日(月)～8月29日(金)/後期：9月15日(月)～9月19日(金)

※自分の都合に合わせて、A日程かB日程を選んでください。

各日程とも、前期・後期両方出る必要があります(前期だけ/後期だけの参加はできません)

- 授業時間：両日程とも、午前9:30から午後4時10分までの予定です
- 募集人数：各コース15人(計30人)
- 研修内容：このパンフレットの4ページを見てください
- 研修費用：研修の授業料、教材費は、無料です(交通費・宿泊費・食費などは自己負担)

II. 事前の試験について

- この研修を受講するためには、(公財)ひろしま国際センターが行う日本語能力判定試験を受験しなければなりません
- この試験で、受講可能な基礎力があるかどうかを判定し選抜します。必ず試験を受けてください

試験日：**2014年7月19日(土)** ←半年プログラムの試験は別の日に実施します!

試験会場：ひろしま国際プラザ(東広島市鏡山3-3-1サイエンスパーク内)

※時間などの詳細は、申し込み後にE-mail等でご連絡します

III. 申し込み方法等について

申し込み用紙を、締切(7月11日(金))までに、E-mail/FAX/郵送/ひろしま国際センター研修部(東広島市)に直接提出のいずれかの方法で出してください。申し込み先は、「申し込み用紙」を見てください。

IV. 応募資格・資格の取り消しについて

- 以下の資格をすべて満たしている方が、応募できます。
 - ・広島県内の大学(高等専門学校を含む)に在籍している留学生の方(研究生/学部生/大学院生いずれも可)
 - ・日本語能力試験(JLPT)のN1、もしくはN2合格、あるいはそれと同程度の日本語能力のある方
- ひろしま国際センターが行う事前の試験に合格し、研修を受けることができることになっても、以下の①～⑥のいずれかに該当する場合、研修生としての資格を取り消します。
 - ①必要書類が提出されない、提出した書類に嘘が書かれているなど、不正があった場合
 - ②大学を長く欠席したり、休学・退学した場合
 - ③研修期間中…欠席が多く、全時間の2/3以上の出席ができないと分かった場合
研修を受ける意欲がとても低い(例:毎時間寝ている)場合
他の研修生に、悪い影響があるようなことをした場合
 - ④県知事に対する誓約書(研修受講が決まってから書きます)にあることを守らなかった場合
 - ⑤健康上の理由で、研修を続けるのが難しい場合
 - ⑥その他、理由がないのに、県やひろしま国際センターの指示を守らない場合

はんとし 半年プログラム(10月～翌年3月)

I. 研修について

- 研修期間：2014年10月6日(月)～2015年3月6日(金)
※期間中、週に最低1～2日來ることができればOKです。詳しくは申し込み用紙を見てください
- 授業時間：午前の授業…9:30～12:20、午後の授業…13:25～16:15
- 募集人数：10人
- 研修内容：このパンフレットの4ページを見てください
 - ・必修科目…2科目(「論文作成」/「聴解・発表」)
※水・木曜日に開講します。必ずどちらかの日に受講してください
 - ・選択科目…2科目(「文法」/「論文読解・レジュメ・要約・スライド作成」)
※月・火曜日に開講します。できるだけ受講してください
- 研修費用：研修の授業料、教材費は、無料です(交通費・宿泊費・食費などは自己負担)

II. 事前の試験について

- この研修を受講するためには、(公財)ひろしま国際センターが行う日本語能力判定試験を受験しなければなりません。
- この試験で、受講可能な日本語の基礎力があるかどうかを判定し選抜します。必ず試験を受けてください

試験日：2014年9月6日(土)筆記、9月7日(日)面接 ←2週間集中プログラムの試験は別の日に実施します！

試験会場：ひろしま国際プラザ(東広島市鏡山3-3-1 サイエンスパーク内)

※時間などの詳細は、申し込み後にE-mail等でご連絡します。

III. 申し込みについて

申し込み用紙を、締切(8月29日(金))までに、E-mail/FAX/郵送/ひろしま国際センター研修部(東広島市)に直接提出のいずれかの方法で出してください。申し込み先は、「申し込み用紙」を見てください。

IV. 応募資格・資格の取り消しについて

- 以下の資格を全て満たしている方が、応募できます。
 - ・広島県内の大学院に在籍している留学生の方、もしくは広島県内の大学(高等専門学校を含む)に在籍している大学院進学希望の研究生、学部(4年生)留学生の方
 - ・主な指導教官(ゼミの先生など)から、この研修への参加許可が得られる方
 - ・日本語能力試験(JLPT)のN1、もしくはN2合格、あるいはそれと同程度の日本語能力のある方
- 試験に合格し、研修を受けることができることになっても、以下の①～⑥のいずれかに該当する場合、研修生としての資格を取り消します。
 - ①必要書類が提出されない、提出した書類に嘘が書かれているなど、不正があった場合
 - ②大学を長く欠席したり、休学・退学した場合
 - ③研修期間中…欠席が多く、全時間の2/3以上の出席ができないと分かった場合
研修を受ける意欲がとても低い(例:毎時間寝ている)場合
受講科目の半分以上で、修了試験に合格できないと分かった場合
他の研修生に、悪い影響があるようなことをした場合
 - ④県知事に対する誓約書(研修受講が決まってから書きます)にあることを守らなかった場合
 - ⑤健康上の理由で、研修を続けるのが難しい場合
 - ⑥その他、理由がないのに、県やひろしま国際センターの指示を守らない場合

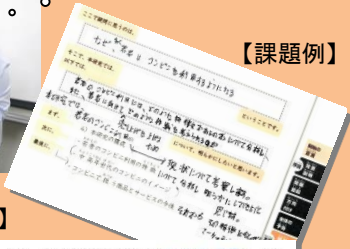
◎どんなことをするの？ ～半年プログラムの場合

※2週間集中プログラムでは、文法以外のすべての科目のコツを、短期集中で学びます

★必修科目

発表する

あ〜どうしょ〜



【課題例】

【フィードバック例】

そこで本研究では、若者のコンビニ利用者、には、どのような特徴があるのかについて、分析し、また、若者に向けて、売り上げを上げるために、どのような作戦を考えられるのかについて、明らかにしていきたいと思えます。

本研究では、まず、若者のコンビニ利用の、現状について、述べます。

次に、若者のコンビニ利用の特徴について考察し、あい、明らかに、していきたいと思えます。

それから、その特徴に基づいて、マーケティング、もしくは、**1**について考えていきたいと思えます。

最後に、コンビニで扱う商品とサービスの今後、について、考察して、考察していきたいと思えます。

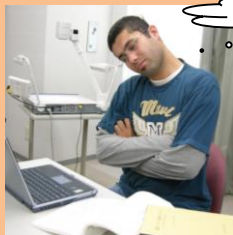
それでは、早速、若者のコンビニの利用、現状について、述べていきたいと思えます。



原稿なしでOK!

論文を書く

何からどう書こう…



【課題例】

ビジネスにおけるメール使用の課題と問題点

3. メールによるトラブルの発生と原因、改善策等

3-1. メールによるトラブルの発生

調査対象は2005年9月にインターネットアンケートを実施し、調査対象は20歳以上の電子メール利用者約1,700人。

図1.メールが原因でトラブルになったことがある人の性別どうだったか

男性	65.5%
女性	34.5%

図2.メールによるトラブルの発生原因

メールのやりとりが不明	7.8%
メールの送信先が不明	14.3%
メールの送信内容が不明	14.3%
メールの送信日時が不明	14.3%
メールの送信元が不明	47.0%

【フィードバック例】

これらのことから、個人情報保護は重大なことだということが分かった。社会人になる前段階の大学生はどのくらい理解しているのか、片山(2010)では、大学生の86.79%がBCC送信を知らず、社会人になってから個人情報保護の問題になると批判されている。

では、このような問題をどのように回避できるのかを検討する前、次節では、トラブル原因を考察していきたい。



フィードバックで自分の課題を知ろう!



構成を意識…!

★選択科目

論文を読む

結局どういうこと?



【課題作成例】

① 1990年の「選挙権年齢引き下げ」以来、外国人労働者の増加に伴って、選挙権の拡大が議論されている。これは、外国人労働者の増加が選挙権の拡大につながっている。また、選挙権の拡大が選挙権の拡大につながっている。また、選挙権の拡大が選挙権の拡大につながっている。また、選挙権の拡大が選挙権の拡大につながっている。



ここ結論!

論文をまとめる

あれ? ポイント何だっけ?



【課題作成例】

第4課 「読書離れ」の正体

1. 表紙① (2002年頃の読書年報調査に基づき)

> 1992年~2000年までの読書年の推移 (単位: グラフ1) (表1)

結果

- 総合読書率 (総計、週刊誌、月刊誌のいずれか)
 - 読む 87%
 - 読まない 13%
- 会員の読書率
 - 59% (2000年より10%↑、以前最高)
- 年別の読書率
 - 10代後半: 76% (99年より30%↑)
 - 20代: 67% (99年より17%↑)
 - 60代以上: 49%に落ちている

どの項目を読んでも、全体の読書率は上がっている



筆者の考えをまとめると…

文法を整理する

これ、いつも間違えちゃう…



【課題例】

■ ウォーミングアップ

(1) 次の文は不自然なところがあります。あれは直してください。(2008年米の記事です)

米国経済は2007年秋から暴落に陥り、特に2008年9月15日のリーマンショック以降、暴落に陥り、ブルームバーグがまとめた民間エコノミストの平均的見通しによれば、2008年第4四半期の成長率は大幅に落ちると見られている。しかし、同時に暴落による国民の生活苦も広げている。……(中略) 暴落の被害を受けたが、暴落後の買い止めに助くことにはならなかった。



自動詞 苦手だから注意!

http://hiroshima-ic.or.jp/hip/index.html

facebook.com/higashihiroshima.hip @hip_iplaza

申込み用紙のダウンロードはこちら!



◆ 申込み・問い合わせ : (mail) hicc33@hiroshima-ic.or.jp
 (TEL) 082-421-5900 ※月~金曜日の午前9:00~午後5:45
 (担当) 犬飼(いぬかい)・黒田(くろだ)